

# SIHD

ミニディスクロージャー誌  
2024.9



池田泉州ホールディングス

## トップメッセージ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。本誌にて、池田泉州ホールディングスの中間期の業績並びに第5次中期経営計画Plusの進捗状況について、お知らせいたします。

今年度の当社を取り巻く環境を見ると、日本経済は着実に回復の道筋を辿ってきておりますが、労働力不足と資源高は現在も続いており、物価と賃金の好循環サイクルを確実なものとするのが当面の課題として認識されております。また金融面では、本年3月にマイナス金利政策が8年ぶりに解除され、更に7月末には「短期金利を0.25%程度に引き上げる」ことが示されました。これに伴い、各金融機関は預金金利や貸出基準金利の引き上げを実施しておりますが、収益面でのプラス効果は下期以降に顕在化してくる見込みです。

このような環境の中で、当中間期の業績は、連結当期純利益において前年対比+18億円増加の84億円となりました。また中間期の決算公表に先立ち、中間期並びに通期の当初予想値を上方修正し、さらに中間期配当及び期末配当予想をそれぞれ1円25銭引き上げ、年間配当予想を15円に上方修正することを決定し、公表しました。2019年度分からの大幅な減配に踏み切って以降、コスト面を中心とした経営改革やお客さま本位の営業改革に取り組んだ結果、お客さま取引部門の利益が約2.5倍の100億円水準となり、2024年度分の配当から減配前の水準に復することが出来ました。

「Vision'25」公表以降、徹底したソリューションビジネスを実践するために、各営業店や本部のソリューション提案力を上げてきました。そして、お客さまの夢に共感し、その夢の実現

のお役に立つという価値観が「第5次中期経営計画」を通じて職員に浸透してきました。更に、2024～2025年の2年計画「第5次中期経営計画Plus」によって、地域での更なるプレゼンスアップを図ってまいります。そして、2024年9月から、①池田泉州ホールディングスグループの持続的な成長、②人的資本経営の実践による組織力の底上げ、挑戦する企業風土の醸成、③役職員の一体感の醸成、組織風土改革等を目的とした「Vision'25」に続く10年後を見据えた長期経営戦略の骨格づくりを全役職員参加型で開始しました。先々を見据えた取組みとしましては、「池田泉州エリアサポート株式会社」を3月に設立し、地域の交通不便の解消のためAIオンデマンド交通事業への取組みを開始し、和泉市では本格運行を始めております。12月には新たに岸和田市での実証運行を開始いたします。また、ス

タートアップや中小企業向け融資に特化したデジタルバンクの設立を目指して、「01Bank 設立準備株式会社」を2月に立ち上げ、新しいビジネスに挑戦する準備をしています。

これからも、地域の皆さまから愛される金融機関を目指して、役職員一同取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2024年11月  
取締役社長CEO

鵜川 淳



### 名誉顧問の逝去について

池田泉州銀行名誉顧問の清滝一也が2024年5月10日(享年99歳)に逝去しましたことをご報告申し上げます。

故人は池田銀行の2代目頭取を1980年から2001年まで20年にわたり務めました。就任当時から金融自由化が始まり、続く金融バブルと崩壊、そして金融ビッグバンなど経営環境の激変が続き、地域金融機関に期待される新たな役割を模索する中での舵取りとなりました。その中で、故人が主導して1996年に設立した自然総研は金融に限定しない「くらし総合サービス」の提供を掲げ、30年近く経った現在においても、その存在価値を高め続けています。

故人が生前に皆さまより賜りましたご厚誼に対し、心より御礼申し上げます。

経歴:1950年4月 日本興業銀行(現みずほ銀行)入行、1974年11月 池田銀行(現池田泉州銀行)入行、専務取締役、1980年6月 同行代表取締役頭取、2001年1月 同行代表取締役会長、2002年6月 同行取締役会長、2004年6月 同行相談役、2010年5月 池田泉州銀行相談役、2012年6月 同行名誉顧問



### 元代表取締役会長の逝去について

当社および池田泉州銀行の元代表取締役会長の吉田憲正が2024年3月30日(享年79歳)に逝去しましたことをご報告申し上げます。

故人は、1968年に三和銀行へ入行し、営業畑を中心に活躍。1999年に同行代表取締役、専務取締役、リテールカンパニー長を経て、2000年に泉州銀行へ着任。翌年から約10年にわたり代表取締役頭取を務めました。2010年に池田銀行との合併を為し、代表取締役会長へ就任。競争激しい関西金融界で豊富な経験と知見を活かし存分に力を発揮しました。故人が生前に皆さまより賜りましたご厚誼に対し、心より御礼申し上げます。

経歴:1968年4月 三和銀行(現三菱UFJ銀行)入行、2000年4月 泉州銀行(現池田泉州銀行)入行、2001年6月 同行代表取締役頭取、2009年10月 池田泉州ホールディングス代表取締役会長、2010年5月 池田泉州銀行代表取締役会長、2012年6月 池田泉州ホールディングス特別顧問、池田泉州銀行特別顧問、2014年6月 退任





### 新規事業プログラム

池田泉州銀行は7月、KPMGジャパンと連携し、大阪府内中核企業の新規事業創出を支援する「新規事業共創プログラム2024 by 池田泉州銀行」を開始いたしました。

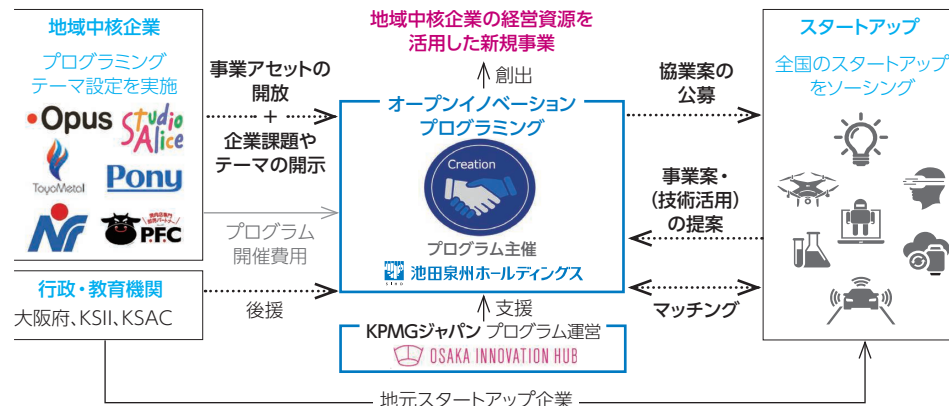
本プログラムは、大阪府内の中核企業が、全国のスタートアップとのオープンイノベーション(\*)を活用した協業により、新規事業を創出することを目的としています。当行およびKPMGジャパンはビジネスモデ

ルの策定からスタートアップとの協業、事業化に向けた実証実験までを約9ヵ月間にわたり伴走支援いたします。

※自社の経営資源と他社の技術やアイデア等との掛け合わせによりイノベーションを創出すること。



#### ●プログラムのスキーム



### Japan Weeks 2024

#### MUSUBU! JAPAN DAYに参加

当社は10月、一般社団法人全国銀行協会主催のMUSUBU! JAPAN DAYの中で、イノベーションファンド25投資先でもあるサグリ株式会社とともに、「MUSUBU! Regional Revitalization 地域金融機関とスタートアップ企業によるプレゼンテーション&パネルディスカッション」に参加しました。当社から代表取締役社長兼CEOの鶴川がスタートアップ支援の取組を紹介し、サグリ株式会社からは代表取締役CEOの坪井氏が持続可能な社会の実現に向けた取組を紹介しました。



Japan Weeks とは 国際金融センターや資産運用立国の実現に向けた政府の取組の1つ。海外投資家等とのコミュニケーションを強化するため、様々なイベントが開催されます

### 一般社団法人 池田泉州奨学基金の設立 およびホームページ開設について

2024年10月1日に一般社団法人 池田泉州奨学基金が設立され、それに伴いホームページを開設いたしましたことをお知らせいたします。

本法人はこれからの日本の未来を担う若者の教育機会を経済的側面から支援し、もって人材の育成、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

対象となる奨学生は、池田泉州銀行の主要営業エリアである大阪府、兵庫県（一部）在住の新高校等1年生（※）で、募集開始は2025年4月の予定です。募集要項は一般社団法人 池田泉州奨学基金ホームページ(<https://www.sihd-sf.or.jp/>)において公表いたします。

※高等学校(全日制・定時制・通信制)、特別支援学校高等部、中等教育学校の後期課程、高等専門学校または専修学校高等課程の1年次に在籍する者

### 2025年大阪・関西万博 特集

#### GUTSU GUTSU チャレンジミーティング～中間報告会～

池田泉州銀行は、2025年大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンの「中小企業・スタートアップの展示・出展ゾーン」において、3つの事業企画の運営を担っております。当行はこの3つの事業企画をGUTSU GUTSUチャレンジと命名し、様々な取組を行っております。9月にはGUTSU GUTSUチャレンジの中間報告会を実施し、出展企業が相互理解を深め、新しい価値を創造するため、各社が展示企画案を発表しました。また、万博が終わった2025年12月に、会社がどうなっていきたいかをテーマとしたワークショップを実施し、現状の認識、ギャップ分析を通じて具体的なアクションを検討しました。今後もオンラインでの進捗確認会やプレ展示会を行い、万博での展示本番に向けたプロモーション活動を続けてまいります。



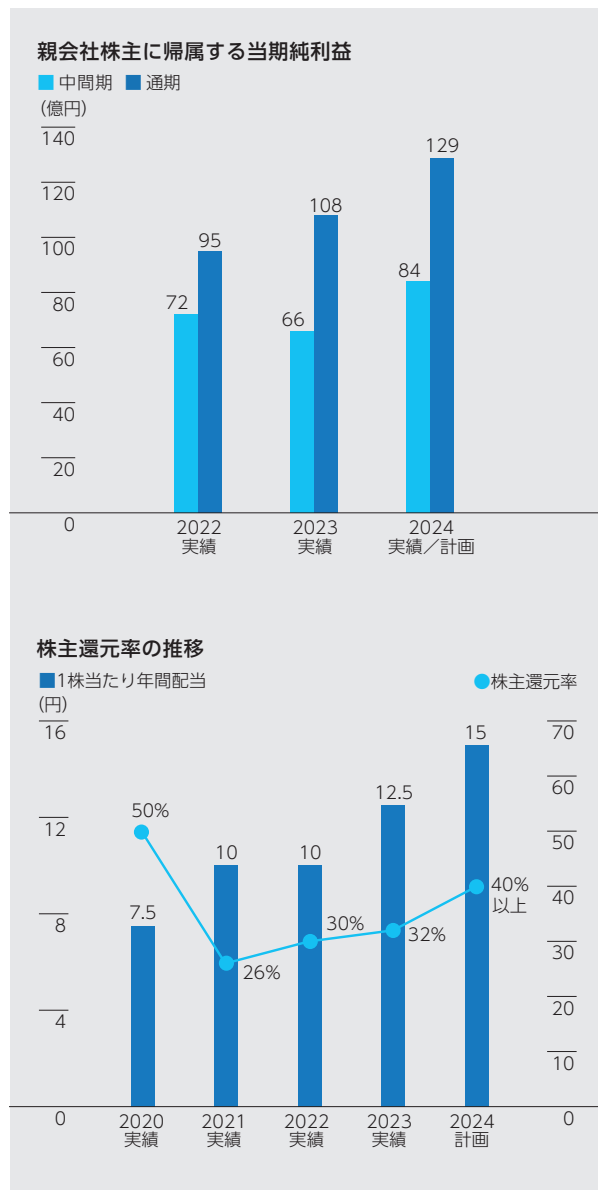
#### MBSラジオ「日本一明るい経済電波新聞」 presents 関西元気な会社EXPO 2024

「日本一明るい経済電波新聞」の書籍第3弾の発売を記念したイベントが、9月にMBS1階ちゃぶらステージで開催されました。その中で、池田泉州銀行のGUTSU GUTSUチャレンジで大阪ヘルスケアパビリオンに出展する企業が紹介されました。また、10月から2025年5月にかけて、出展企業32社が当行が提供するMBSラジオ「日本一明るい経済電波新聞」に登場する予定であり、各企業のPR機会を創出します。

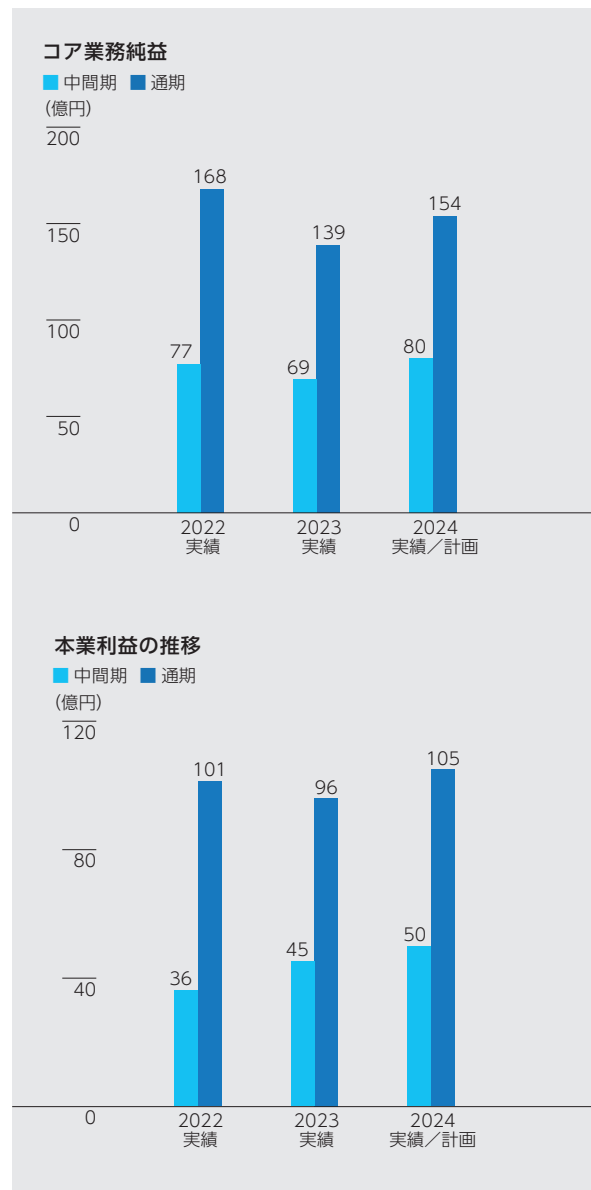


## 財務ハイライト

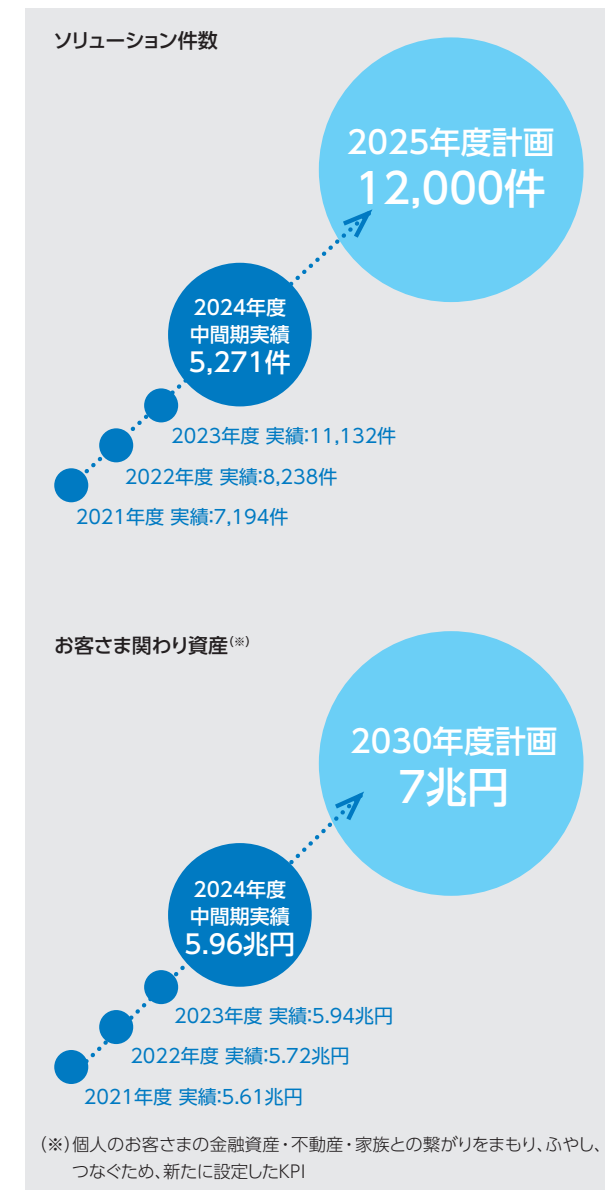
## 池田泉州ホールディングス



## 池田泉州銀行



## 非財務ハイライト



## 株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を、重要な経営課題と位置づけております。

株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動などをご説明し、当社へのご理解を深めていただくとともに、皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

### 株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えべく、株主優待制度をご用意しております。

地域ブランド発信の想いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の食材や、長い伝統を誇る地場の名品などを多数取り揃えたカタログギフトの中からお選びいただけます。

なお、株主優待制度につきまして、2024年6月より制度の運営を一部変更いたしました。株主の皆さまの利便性向上とペーパレス化の促進を目的として、ハガキによる株主優待品申込み手続きを廃止し、株

主の皆さま専用のWEBサイトからお申込みをいただける「池田泉州ホールディングス・プレミアム優待倶楽部」を開設いたしました。なお、WEB環境をご用意できない株主の皆さまにつきましては、お電話で株主優待をご選択いただけるようにいたします。



| 保有株式数                 | 継続<br>保有期間 | 優待内容      |     |                    |  |
|-----------------------|------------|-----------|-----|--------------------|--|
|                       |            | 地域特産品等    |     |                    |  |
| 10,000株以上             | 3年以上       | 10,000円相当 | かつ  | 株主優待定期預金・金利アップクーポン |  |
|                       | 3年未満       | 5,000円相当  | かつ  | 株主優待定期預金・金利アップクーポン |  |
| 6,000株以上<br>10,000株未満 | 3年以上       | 5,000円相当  | または | 株主優待定期預金・金利アップクーポン |  |
|                       | 3年未満       | 3,000円相当  | または | 株主優待定期預金・金利アップクーポン |  |
| 2,000株以上<br>6,000株未満  | 3年以上       | 3,000円相当  | または | 株主優待定期預金・金利アップクーポン |  |
|                       | 3年未満       | 2,000円相当  | または | 株主優待定期預金・金利アップクーポン |  |

### 配当予想の修正

(2024年10月25日公表)

2025年3月期第2四半期および通期における親会社株主に帰属する当期(中間)純利益が当初予想を上回る見込みとなったことから、中間配当金および期末配当金をそれぞれ前回予想の6.25円から7.5円にいたしました。この結果、年間の予想配当金は15円となります。

|                        | 1株当たり配当金(円) |      |      |
|------------------------|-------------|------|------|
|                        | 第2<br>四半期末  | 期末   | 年間   |
| 前期実績<br>(2024年3月期)     | 6.25        | 6.25 | 12.5 |
| 前回予想<br>(2024年5月13日公表) | 6.25        | 6.25 | 12.5 |
| 今回修正予想                 | 7.5         | 7.5  | 15   |

### 株主懇談会

当社では、株主の皆さまとの対話の場として、株主懇談会を開催しております。

今年度は、2月20日、2月27日の2回にわけて開催する予定です。

株主懇談会では、近況のご報告・外部講師によるマーケットセミナー・当社グループ役員との懇話を予定しております。



### 会社概要

#### 池田泉州ホールディングス

- 設立日: 2009年10月1日
- 本社所在地: 大阪市北区茶屋町18番14号
- 資本金: 1,029億円
- 従業員数: 187名
- 上場取引所: 東京証券取引所

(2024年9月末日現在)





大阪屈指の賑わいを誇り、多くの人と企業がエネルギーに活動する街「なんば」。池田泉州ホールディングスグループは、この街に新たな社会的価値の創出にチャレンジするための拠点「GUTSU GUTSU」(ぐつぐつ)を2022年12月に開設しております。

### 多様な知が集い、交流し、新たな可能性が生まれるアイデアの発信拠点「GUTSU GUTSU」を大阪・なんばに開設!

金融の「融」という字には、「固いものが融けて混じり合う」という意味があるとされます。池田泉州ホールディングスグループは関西を地盤とする金融グループとして、商品・サービスの提供のみならず、ビジネス、情報、人などの価値を結びつける役割を大切にしてきました。

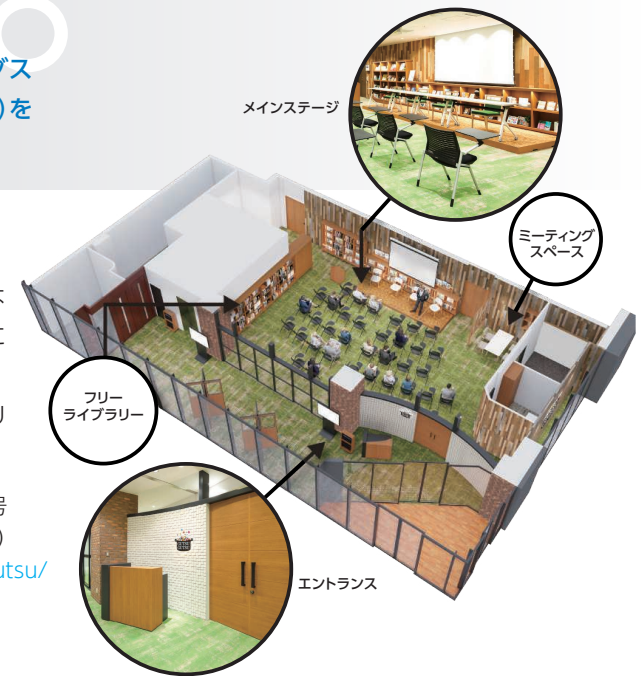
池田泉州ホールディングスグループは、その想いを「GUTSU GUTSU」という名前に込め、「新しい価値が生まれる場所」としてリアルな拠点を開設しております。

様々な価値やアイデアがひとつの鍋に集い、人々の熱意によって融け合い、新しい価値が生まれて、新たな情熱が「ぐつぐつ」と沸き上がる。そんなエネルギーにあふれたイノベーションの場から、大阪・関西を盛り上げてまいります。



所在地:大阪府大阪市中央区難波5丁目1番60号  
(南海なんば駅直結・なんばスカイオ1F)

公式サイト: <https://www.sihd-bk.jp/gutsugutsu/>



### 「GUTSU GUTSU」のコンセプトに沿った取組みも順次始動しております

#### 池田泉州銀行 SDGsフォーラム第3弾

オープニングイベントとして「地方創生・まちづくりSDGsの実現に向けて」をテーマとしたトークセッションを開催しました。



#### 2025年大阪・関西万博セミナー「企業の万博への関わり方」開催

「GUTSU GUTSU」では、万博に向けた様々な取り組みを実施しています。2024年2月には中小企業が万博をビジネスチャンスとするためのヒントを得るセミナー「企業の万博への関わり方」を開催。3名の万博のキーマンをお招きし、ウェビナー配信も行いました。



#### 「難波(なんば)100人カイギ」の開催

「難波(なんば)100人カイギ」は、なんばにゆかりのある人たちのモチベーションアップと、街の愛着を育むコミュニティ醸成を目指したコミュニティプラットフォームです。池田泉州ホールディングス、南海電気鉄道、乃村工藝社の三社共同で運営しており、2024年2月に第1回を「GUTSU GUTSU」にて開催しました。

業種業界を問わず集まった人々の交流から生まれる「共感・共創」を通じて、新しい価値の創出を目指します。



**100人カイギとは** 全国90ヵ所以上の地域で開催されている、人と人をつなぎ、都市のあり方や価値の再発見を目的とするコミュニティです。“毎回、身近で面白い活動をしている5名のゲストが登場する”、“ゲストが100名に達したら解散する”というルールで運営されています。(引用: 100人カイギ <https://100ninkaigi.com/>)

#### GUTSUカフェ～部署を越えた交流～

職員間のコミュニケーション活性化を図ることで「部署間の縦割り意識を無くすこと」、「会社が仕組みを構築し、それを職員が活用して価値を提供するという経営からのメッセージを発信すること」を目的とし、『GUTSUカフェ』を開催しました。2024年2月～10月にかけて7回開催し、延べ347名が参加しました。



#### ぐつ Umeda 7の設置

『進取の精神に満ちたクリエイティブな場に変革する』、『部署を跨いだ対話を促進し、部署間の壁(縦割り)を解消する』ことを目的として、2024年9月、本社ビル7階にグループ共用のワーキングプレイス「ぐつ Umeda 7」を設置しました。

